

# わかやま 県議会 だより

## No.7 平成22年 【2010】 2月7日発行

# 12月定例会号

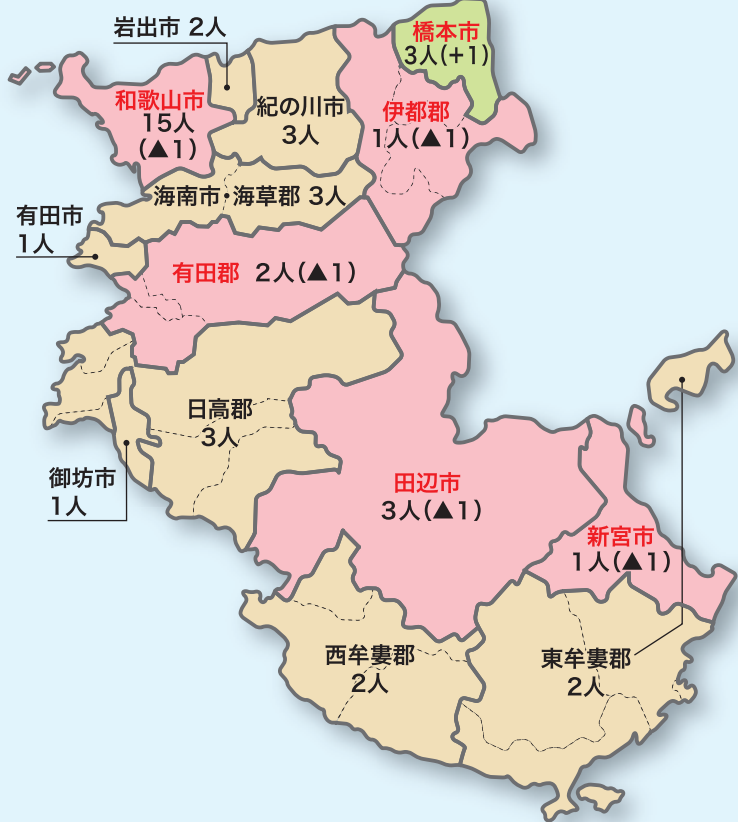
樹水  
(高野龍神スカイライン)

**主な記事** 2～3面 平成21年12月定例会概要  
4面 議会活動／常任委員会の県内調査報告／  
県議会を見る・聞く

## 議員定数を46人から42人へ

和歌山市、田辺市、新宮市、伊都郡、有田郡の  
各選挙区は1人減、橋本市選挙区は1人増

次の県議会議員選挙(平成23年4月予定)における  
選挙区別議員定数 【総定数42人 14選挙区】



### 検討経過

平成19年6月に「議員定数等検討特別委員会」を設置し、次期選挙の1年前までに結論を出す予定で、延べ12回の委員会を開催し、検討・協議を進めてきました。

12月定例会では、特別委員会の結論に基づいて、議員の定数及び各選挙区の定数を見直すための条例改正案を提案し、賛成多数で上図のとおり決定されました。

### 町田 亘 委員長コメント

今回の改正では、同規模県の平均定数削減率に匹敵する4人の定数削減を行うことができ、併せて逆転選挙区の解消、一票の格差の大幅縮減を果たすことができましたので、県民の皆さんには一定の評価をいただけるものと思います。



フランスのテレビからも注目される和歌山電鐵  
たま駅長(紀の川市)

住民の力で町を再生させ  
誇るべき観光スポットとなり  
ました(湯浅町)



## 議員提案条例

# 『和歌山県観光立県推進条例』制定

## 県民みんなで観光立県

この条例は、観光立県の実現のため、  
県民総参加で観光振興に取り組むための  
よりどころとなるものです。



地域の奇祭「笑いまつり」  
が全国区になりました  
(日高川町)

### 座長に聞く

観光振興に係る条例案検討会

座長 小川 武

観光振興の一番の処方箋は何でしょうか？

観光客に「また来たいな。」と思ってもらうことが鍵だ  
と思います。

すばらしい自然にふれたり、美しい景観を見たり、楽し  
い体験をしたときは、もちろんですが、旅先で地域の人々  
の温かな心遣いにふれたときもそうではないでしょうか。

例えば、親切に道を教えてもらったり、地域の歴史や文  
化について話を聞かせてもらったり、心のもったサービス  
を受けたときなどは、それがたとえ小さな出来事であつて  
も「また来たいな。」という思いにつながります。

和歌山県のすばらしい魅力を県民の皆さんの「心のもつ  
たおもてなし」を通じて観光客の皆さんに味わっていただ  
くこと、それが観光振興の一番の処方箋だと思います。

いつからスタートしますか？

4月1日施行です。この条例の趣旨をご理解願ひ、県民  
の皆さんと一緒に観光振興に取り組む、国内外から多くの  
人々をお迎えすることで、観光立県による活力ある元気な  
和歌山を実現したいと思います。

### 専門家から一言

観光振興は「まちづくり」

わかやま産業振興財団  
観光産業プロジェクト  
マネージャー

近藤 政幸

観光振興は「地域経済の活  
性化」と「地域コミュニティの  
再構築」につながります。

地域住民が力を合わせて、  
地域の魅力を発掘し、磨き、  
観光資源として売り出す。  
これによって観光客が増え、  
地域経済が活性化すると  
ともに、地域住民が力を合  
わせることで地域コミュニテ  
ィを元気にします。

この条例を契機に地域に  
おける自主的な取組が活発  
化することを期待しています。

※条例の詳細については  
県議会ホームページをご覧ください。